

(様式6-3)

研修等 報告書

29 年 7 月 13 日

三田市議会議長

様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会	代表者	印 [Redacted]
	三田市議会議員団	議員名	
参加者氏名	小山 裕久		
講演会等研修名	自治体財政マスター講座 in 博多		
研修事項	・議員の基本「財政比較分析の仕方」 ・決算審査のアプローチ1 ・決算審査のアプローチ2		
日 時	29年7月 5 日(水) ~ 29 年 7 月 6 日(木)		
場 所	福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル		
所 見	(所見は別紙に添付)		
添付資料	・議員の基本「財政比較分析」の仕方 ・決算審査のアプローチ「基礎編」 ・決算審査のアプローチ「応用編、質問のポイント」 以上3点議会事務局に原本あり		

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

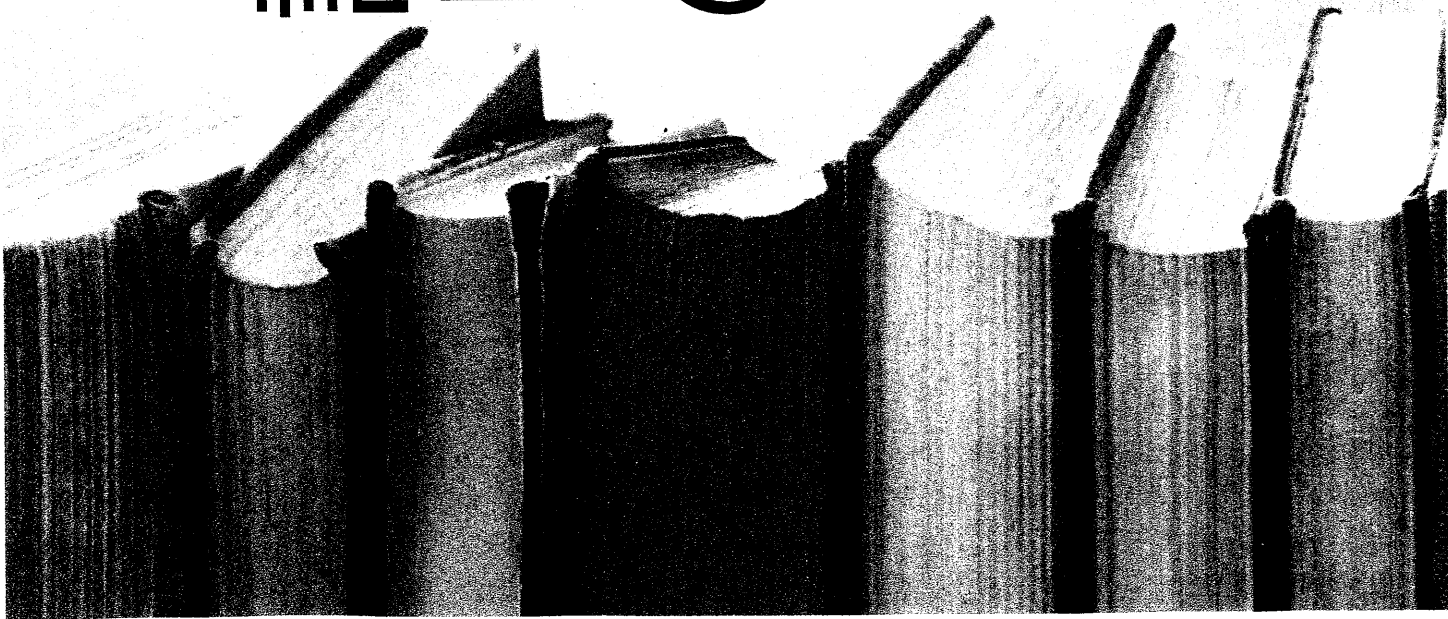
(所見)

財政比較分析の仕方の研修においては、参加自治体それぞれの財政状況資料集を配布してもらい解説していただいた。まずは三田市の財政資料を確認し、三田市と同規模自治体と比べどのような水準なのかを確認し分析をした。現在の通常経費を分析すると、医療費や社会保障費に当る扶助費の水準は他の同規模自治体や、全国平均から比べると低い水準となっていた。しかし将来的には高齢化に伴う医療費や社会保障費の増大が見込まれることから、市民の方々へ疾病の早期発見、早期治療を即し、医療費の抑制等により扶助費増加の抑制などに努めなければならないと分析できた。

国の方も地方財政の全面的な「見える化」へ積極的な対応を求めており、統一的な基準による地方会計の整備は課題になっている中、今までの様に自分の感覚で地方財政を考えるのではなく、複雑で難しいと思われている公会計をしっかりと把握するために、財政状況資料集の見方や決算カード、歳出比較分析表を活用する知識を学んだことで、財政状況の分析や中期財政計画を客観的な立場から財政状況を見ることができるようになりました。

決算審査の研修においては、自治体決算の仕組み、決算審査の効果的な方法や予算と決算がどのように連動しているかの講義をうけ、これからの自治体議員が審査にあたり留意しなければならない点や指摘のポイント、客観的に財政の流れを見る手法など、財政の健全性、施策の効果と改善、財務財産管理、会計処理の適正性に至るまで説明をうけ理解に繋がられました。

まもなくわが市においても地方自治法の規定に即し決算が提出され公表されます。この時期に自治体財政を学ぶ研修に参加させていただいたことは、決算審査においても大変有意義であったと感じています。



議員の基本 「財政比較分析」 の仕方

自治体経営コンサルタント
川本達志

2017.7.5 博多

決算審査の 下り口一手

《基礎編》

2017.7.6 福岡市

自治体経営コンサルタント

川本達志

決算審査の 了り口一手

《《応用編》》
(質問のポイント)

2017.7.6 福岡市

自治体経営コンサルタント

川本達志